

2022年7月6日

卒業生の皆様

学校法人桜蔭学園  
理事長・校長 齊藤由紀子

「宝生ハイツ建替え計画」により想定される教育環境の悪化に関する署名のお礼とご報告

卒業生の皆様には、日頃より桜蔭学園にご理解ご協力を賜り、ありがとうございます。

昨年2月には、晁桜会会長関先生のご厚意により、晁桜会会報「晁桜」に署名のお願いを同封させていただき、皆様よりたくさんの署名をいただきました。6月11日現在で、7,500筆を超えるご署名をいただき、在校生・保護者、関係者の署名を合わせまして、15,681筆となりました。

皆様よりいただきましたご協力に心より御礼申し上げます。

6月13日に、東京都議会に、教育環境悪化を避ける請願書とともに全ての署名簿を提出いたしましたことを、ここにご報告申し上げます。

5月25日には、宝生ハイツ管理組合から「建築計画のお知らせ」の標識が設置され、東京都の総合設計制度を利用した建築計画が正式に示されました。その後、6月5日、6日の近隣説明会、さらに本郷1丁目の町会（元二親和会）の要望により6月16日にも近隣説明会が開かれましたが、町会の方々もこの建築計画をたいへん憂慮され、この度、町会の方々を中心に「本郷一丁目の住環境を守る会」も立ち上がり署名活動が始まりました。学園も共同団体として参加いたしました。学園受付にも署名用紙を用意しております。

今後とも皆様のご理解とご協力をいただけましたらたいへんありがたく存じます。

これからも、近隣の住環境、教育環境の悪化の回避について、最大限の配慮を求めて参ります。